

医療福祉の地域創造会議 通信 第147号

第140回ワーキンググループ会議 (R8.6.25)

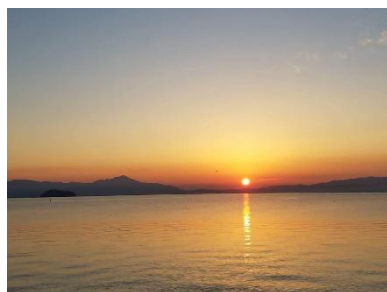
(R8. 7. 30)



『みんなのつながり物語～ちょこっと終活も～』

●話題提供者

SUZAKI CAFÉ 洲崎 トモ子 さん



絶景
SUZAKI CAFÉ の魅力

会いたい人、共通点のある人に出会う。
話の中で引出しが開く、話が膨らむ

コミュニティねっとわーく高島主催
つながりカフェで身寄り問題が話題に。

- ・1人暮らしの老後について不安。
- ・動けるうちから今後の対策をしておく重要性を認識。



おひとりSUNカフェ発足



ちょこっと終活

高島版エンディングノート「たかしまマイウェイノート」

- ・いざという時のために、本人の意思が確認できるノート。

たかしまマイウェイノートスタートWS開催

SUZAKI CAFÉ で月1回開催

毎日を楽しく、よりよく生きるために記入してもらう。

- ・身内には書いてって言いにくい。
- ・みんなで話しながら気軽に書ける。



★行政や専門職ともつながり、橋渡しができるといい★

この景色を見に
来て欲しい

人が集まる場を主催

- ・イチゴスイーツづくり
- ・味噌づくり
- ・丁稚羊羹づくり



空いた農作業小屋でテイクアウトカフェ



6月は、SUZAKI CAFÉ 洲崎トモ子さんにたくさんの素敵な写真と一緒に話題提供していただきました。

ジョギングしている時に若い方の友達ができてつながれる。と、アウトドアが大好きな洲崎さんが話されていて、明るい笑顔が印象的でした。

洲崎さんのように思いっきりやりたいことをやる人生が羨ましい、という参加者の声もありました。



肩の力を抜いていろんな人とつながれる（居場所になる）

参加者の声

・男性でも行きやすく、陶芸などスキルを発揮することで誰かの役に立てる喜びを持てる。

・何も考えずに行ける。移住者や独り身の方にも安心できる、そういう自然な集いとなっていてコンセプトとして素晴らしい。

・いつも集まる人が顔を見せなくなると体調の変化を察しやすい。

・お客さんの悩みの支援につながる。

・エンディングノートの大切さは現場で感じる事が多い。実際ご両親がエンディングノートを書かれていて役立つことがたくさんあったので、みんなでできたらいいな。

・実際エンディングノートを書こうとしても書けない方が多い印象がある。

・こういう場のような、とりあえず喋ってみようという雰囲気づくりが大事なのかな。そこでつながること、わかることもたくさんあるのでは。

・リラックスして喋りやすい環境と、洲崎さんのお人柄や自由度が高いことも参加者が増えたところでは。

・自然に囲まれた環境で健康になり幸せを感じることができる。

・マイウェイノートという名前が日記の延長線上みたいでいいな。

【令和8年度総会・研修会】

○日時：令和8年8月29日（土）14:00～17:00

○場所：ピアザ淡海 大会議室（Web可）

○テーマ1：『人生会議(ACP)の基本と考え方』

話題提供者：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

先端基盤看護科学講座 准教授 竹之内 沙弥香さん

○テーマ2：『もしもの時に備える人生会議で大切な3つのポイント』

話題提供者：チーム大津京代表 医療法人西山医院理事長 西山 順博さん

医療福祉の地域創造会議 事務局

（滋賀県庁 医療福祉推進課内）

Tel 077-528-3529

e-mail info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp